

昭和61年6月10日発行

関前コミュニティセンター協議会

電話 51-0206

関前コミュニティだより

SEKIMAE COMMUNITY CENTER NO. 14



みんなでおのしく


7月5日(土)午後2時～
於 関前コミュニティセンター

利用者こん談会を開きます
どなたも自由に参加ください

協議会委員会では、去る五月十三日定例委員会を開き、関前コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動について、利用者をはじめ地域市民の由広いご意見を求め、こんごの事業実施に取り入れられたり、参考とするために次のとおり、利用者こん談会を開きます。誰でも自由にご参加のうえ、ご意見などを卒直におきかせください。

- ▼日時 6月 21日 午後2時～
- ▼場所 関前コミュニティセンター大広間

七夕かざりを つくりましょう



七月まつりが近づきました。お子さんたち、お母さんたち、みんなが集って七夕かざりをつくりましょう。子供さんのため七夕にまつわる伝説を簡単に紹介しておきます。お子さんに楽しく読んでさしあげてください。

《伝説》 織女は天帝のむすめで、毎日、わき目もふらずに、はたをおっていました。そこで、天帝もかわいそうに思っ、て、天の川のむこう岸で、牛をかつている若者に、およめいりをさせました。すると織女は、すっかりなまけて、すこしもはたをおらなくなりました。

天帝はおこって、むすめを家につれもどし、一年に一度、七月七日の夜だけ、川をわたって若者とあうことをゆるしました。このときは、カササギという鳥が、天の川にはねをさしかけて橋となり、織女をわたしてくれませんが、雨がふると、水かさが増すために、ふたりはあえないといわれています。その夜、ふたりがぶじにあえるように、そしてまた、はりしごとや、ことや、

文字がうまくなるように、おいのりした祭りとなり、日本へもつたわって、たなばた祭りになったのです。(学習百科辞典から)

61年4月・5月の利用状況

皆様のご協力で利用者が増加しています。下の表は本年の4月と5月の状況を昨年の同月と比較したものです

	本年 利用者数	昨年 利用者数	比較
4月	2,949	2,472	+477
5月	2,719	2,426	+293